

## 第1回三沢市協働のまちづくり推進懇話会概要

日 時：平成26年4月30日（水）

18時30分～20時00分

場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ

出席者：5名

### 次 第

#### 1. 開会

#### 2. ❀出席者

名久井 正廣（ファシリテーター。航空科学館勤務）

五十嵐 耕司（副会長、有限会社ヒーローネット代表取締役）

吉家 裕行（市民会議から参加）

小比類巻 隆（一般公募）

金淵 恵（一般公募。鳥取県の米子出身。行政に18年携わっていた）

#### ❀事務局

田面木課長（今年度から）

内野補佐（二年目）

東補佐（今年度から）

吉田係長（三年目）

吉田主査（今年度から）

#### 3. 今回の報告事項

### ①平成25年度市民活動ネットワークセンターみさわ利用状況および日曜日開館試 行開始について

#### ☆事務局説明

（資料1参照：H24・H25利用実績）

- ・月別利用者数→件数、利用者数ともにH24年度より増えている状況。
- ・時間帯別利用者数→午前、午後、夜間の時間帯別で人数と件数を出していますが、H24・H25年度ともに午後の使用回数が多い状況になっております。
- ・場所の利用者数については、パソコン利用者が少ないようではありますが、作業スペースは口コミで利用者が増えております。
- ・曜日別件数・人数→件数については比較的分散されているが、人数については金・土は1回辺りの回数が多めに使用する方が多いようではありますが、比較的月曜から土曜までまんべんなく利用している状況です。
- ・日曜日試行開始→HPに掲載、マックテレビのデータ放送をしております。予約状況は今のところありませんが、利用団体へもお知らせを郵送しており

ますので、あとは状況を見ながら試行していく予定です。

## ②平成25年度ファシリテーター養成講座について

### ☆事務局説明

(資料2参照：H25年度開催「ファシリテーター養成講座」概要)

- ・10時から16時までという長丁場の講座は初めてでしたが、三沢高校の生徒さんにも参加していただき、各テーブルにも好評で若い意見が出たりしたので、良かったと思います。

今年度も3回程度開催出来れば良いと考えております。会場も市民活動ネットワークセンターを利用しながらやっていければと考えております。

- ・年配の方や町内会長さん方にも分かりやすく説明しながらセミナーを進めていけたらなとも思っております。

## ③平成25年度協働のまちづくり市民提案事業実施状況検討事項について

### ☆事務局説明

(資料3参照：H25提案事業一覧)

- ・25年度の傾向とすると、予算が余った？多かった？などで返金というケースがあり、事業計画があまかったのではないかと考えたところではあります。

現在、10団体からの申請が出されております。

### ☆意見交換

委員A：ネットワークセンターみさわの利用状況の件ですが、以前アンケートを実施したと思いますが、結果はどうなったのか再度聞きたい。

事務局：アンケートは12月と2月に実施しましたが、アンケート内容をもっと具体的に詰めて実施した方がいいと思うので、もう1回実施しようと考えております。

委員A：ファシリテーター養成講座の件ですが、私も参加しましたが個人的には講師と参加者のズレがあったかなと思いました。講師の方はすごく一生懸命でしたが、最後まで参加者には受け入れられていない様子が見られました。次回また同じ講師で開催するなら、もう少しコンセプトを絞る等の工夫が必要なのでは？

委員B：進行していてもファシリテーターは話をしないでという空気になったり、課題が進まなかったりもした。

委員A：1日という時間を取ったわりには、不完全燃焼という印象を受けた。学生

も自治会長さんもお母さん方もという、このバラつきがどうだったかなと思う。お互いに遠慮し合っとうまく意見が出せない部分が見られたので、もし今後また同じような講座があるなら、テーブルに座らせる際のメンバーの振り分け方などの工夫など、今回の結果を活かして欲しい。

事務局： 皆さんからの意見等を取入れて今年度実施していきたいです。

委員A： 市民提案事業については、報告会などは行っているのですか？  
団体がしてきたことを一同に会して報告し合っ、つながる会ではないですけど懇親会的なことを設けると、もう少し広がるのかなという印象を受けました。

事務局： 報告会に関しては私どもの間でも必要なのではないかと話しておりました。他市町村でも実施している自治体がございますし、団体同士を知る機会にもなりますし、ミニ交流会的な感じにもなると思うので、是非交流会を開催したいと思っております。時期についてはこれから検討していきたいと思えます。

委員C： 県のまちづくりは基本的に応募の時点から公開プレゼンテーションをしていた。

委員B： 報告会で自分たちの団体の活動が、当初の予定からズレていないか等の確認をするためにも、中間報告会をして途中で団体同士で話し合っ、お互いにアドバイスや軌道修正を図る場があってもいいと思う。

事務局： 今までは団体の活動状況は細かく公開はしていませんでしたが、昨年度からは逐一HPに掲載するようにし、審査員の皆様へもメールで活動報告をするようにしてきました。

委員長： ファシリテーター養成講座の件について、市の職員の研修も含めて予算を確保したということで、市の職員の方々の理解がないとなかなか出来ないと思うので、こういった懇話会等の機会に顔を出してもらっ、お互いの顔を覚えてもらい、また市の職員の方々のアピールをする場も必要だとも思うので、今年度実施するにあたってはそういった意味でも広くやっていただければと思います。講座の進行方法についても、今年初めて開催したこともあり進行する側も受ける側も分からなかったのではないかと思います。講師の三澤さんはレベルが少し高い方だと思うので、団体に対してお話しをする機会が多いかと思うので、その辺で少しギャップが生じたのかなと。年齢層が幅広いと、それぞれの関心事が違うので、その中で共通の課題を見つけるのは難しかったのではないかと。

## 検討事項

### ①三沢市協働のまちづくり推進懇話会のメンバーについて

#### ☆事務局説明（資料4参照）

このままのメンバーで今後も活動していくのか、それとも変更するのであれば再度募集するなど、どうするのか。

委員長： 一般的には市民会議、各種団体、一般公募、これまで関わって下さった市の職員の方、大きく分けてこの4つのくくりになると思いますが、実際充職の方たちがなかなか出席できない状況ですので、今年度どなたか新たに出席等を考慮して参加出来る方をご推薦いただけませんかという形でご案内するのがいいのではないかと。

懇話会の定員数が15名以内とあるので、定員数にはまだ余裕があるので例えば東さんが市民枠に入る事も可能ですし、公募として若干名市民の方を募るという方法もあると思います。

事務局に過去2年間の出席率の低い方に意思確認をしてもらってから、公募を考えていかなければならないと思います。

#### ☆最後に

##### 次回以降の日程について

1ヵ月に1度くらいのペースで情報交換ができればいいと思うので、そのように進めていく。第3水曜日をベースにして、次回は5月28日（水）を予定。

## 4. 閉会